

土地区画整理審議会委員が決定しました

阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理審議会委員の立候補者届出の受付等を平成 28 年 7 月 12 日（火）から 7 月 21 日（木）まで行いました。その結果、7 人の方が立候補届を提出され、当選者が決定されました。

次回の審議会については、12 月頃を予定しております。開催の詳細については、キセラ川西ニュース等でお知らせします。

※土地区画整理審議会とは、事業を進めるにあたり、事業の公平性を確保するため、施行者である市が意見を聞いたり同意を得たりするための土地区画整理法で定められた組織です。

審議会委員のご紹介

審議会委員選挙で当選された 7 人と学識経験者として選任された 2 人の審議会委員を紹介します。

土地所有者を代表する委員（届出順） 7 人

有限会社セイコー・コーポレーション

平野 泰弘

白川 哲也

田中 一廣

西村 勝正

川西市水道工事業協同組合

天理教雲雀丘分教会



借地権者を代表する委員 なし

学識経験者 2 人

北原 鉄也（関西学院大学 大学院総合政策研究科 総合政策学部 教授）

楠田 修三（元 兵庫県 県土整備部 まちづくり局 市街地整備課長）

かわにしプレーパーク活動がはじまっています

キセラ川西せせらぎ公園での活動を目指して

平成 25 年 12 月より、市民のみなさまが集まり、キセラ川西せせらぎ公園のイメージをはじめとした話し合いが進められました。「プレーパーク」は、その中で出された意見がもとになったもので、市民の有志の方々によって、実現に向けた活動が本格化しています。

現在、プレーパーク活動を行う「キセラ川西プレーパークの会」が平成 28 年 2 月に市民の有志の方々に発足し、キセラ川西せせらぎ公園が開園するまで、キセラ川西に程近い「桜ヶ丘公園」(中央町 15)でおおむね月 1 回開催を目標に活動しています。これまで 4 回行われ、7/31 の活動では、水遊びやスイカ割りなどが行われました。

今後は、8月28日と9月25日に活動される予定です。どなたでも参加できるそうなので、プレーパークに興味がある方はぜひ足を運んでみてください。



【今後の活動日】

8/28(日) 9~12 時
9/25(日) 10~14 時



■ プレーパークとは？

子どもが自由に遊べる遊び場のことです。一般の公園にありがちな禁止事項をできるだけなくし、地域住民のみなさまと行政、プレーリーダーで協力しながらできる限り、こどもの「やってみたい!」を実現するための遊び場をいいます。

ホタルの飛翔を夢見て設計したせせらぎ遊歩道のイマ

今年の春から供用開始した「せせらぎ遊歩道南線エントランス部分」。ここは、川西北小学校周辺の豊かな水辺環境を引き継ぎ、いつかみなさんとホタルを愛でられるようにと、夢を持ちながら設計された護岸です。コンクリートで固めてしまうのではなく、上流からの小さな砂や土などが堆積し、水草が根を張れるように工夫されています。

現在、供用開始してから 5 か月が過ぎようとしておりますが、水草が生い茂ってくれるようになり、生物もこのせせらぎを気に入ってくれているようです。

今後は、ホタル復活プロジェクトに参加されている市民の方々を中心に、護岸の掃除をしたり、定期的な生物の観察会をしたりすることで、この場所を育てていきたいと思っております。

(活動にご興味ございましたら、地区整備課までご連絡ください。)



上と左：現在のせせらぎの様子。様々な植物が生い茂り、生物も豊富。水草は花もつけています。ぜひ足を運んでみてください。

右：過去の水生生物観察会の様子。

人になれて、表情豊かなカマキリのなかま



昆虫の中で、一番表情が豊かで人に慣れていているように見えるのは、カマキリのなかまでしょう。漢字では「螳螂」(とうろう)と書きます。日本には10種類ほどいますが、身近で目にする種類は、オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリ、ヒメカマキリの5種類です。大きい種類ほど人になれやすく飼いやすいようです。捕まえようとするとかまで挟んだり、おどかすと威嚇したり逃げ隠れしますが、落ち着くと手のひらにも乗り、どんどん上に上がってきます。きれい好きで、カマや足の先、触角などを掃除します。エサを見つけるために目が前向きについていて、首もよく曲がるので表情が豊かに見えます。動くエサに気づいたときや威嚇するときには、怖い顔つきになったり牙をむいたりします。



交尾器 左：オス 右：メス

オオカマキリ

日本のカマキリの中では最大種で、オスは約90mm、メスは約100mmに達します。オスメスの区別は、顔(頭部)の幅、体型(腹部の形)、交尾器の形で判断できます。緑色のものと茶色のものがありますが、茶色のものも最後の脱皮までは緑色です。

オオカマキリの暗褐色の後翅→



チョウセンカマキリ(単にカマキリと呼ばれることもあります。)



オオカマキリにとっても似ていますが、やや小型です。オスが約80mm、メスが90mmぐらいです。緑色のものと茶色のものがあります。オオカマキリとの区別は、写真のようにカマの間(胸部内側)の色です。オレンジ色であればチョウセンカマキリです。またオオカマキリは後翅の色が暗褐色ですが、チョウセンカマキリは透明です。

ハラビロカマキリ



名前の通り、ほかのカマキリと比べると胸部が少し短くて、腹部の幅が広く全体的にずんぐりした体型です。前翅の目立つ白斑も特徴です。緑色の方が圧倒的に多いようです。体長はオスが約55mm、メスが約65mmです。日当たりの良い場所にいます。成虫でも体が柔らかく前屈ポーズができたり、背中まで口が届いて指にかみついたりもします。取るエサの種類によるのか他のカマキリに比べてハリガネムシに寄生されていることが多いようです。

コカマキリ



ほとんどが褐色で緑色のものは非常に珍しいです。カマの内側には腕章のようなきれいな目立つ模様があって威嚇するときには、相手に見せつけているようです。名前の通り小型のカマキリで、オスメスとも60mm前後です。

ヒメカマキリ(右写真)

小型のカマキリで、目にも特徴的な模様があります。体長は25mmほどです。後翅の方が少し長く突き出しています。警戒心が強いようです。幼虫の時期には腹を上を折り曲げ、ボクシングのジャブのようにカマを動かすようすがとてもユーモラスです。



カマキリは、除草剤や農薬を使用せずに害虫を駆除する役立つ昆虫として見直されていますが、近年は、草刈などの機械化によってカマキリの生息する環境も危機に陥っています。その分害虫も増えたと言われます。

◎平成 28 年度川西市中央北地区まちづくり協議会通常総会を開催します！

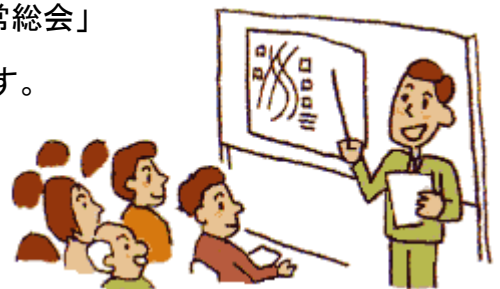
平成 28 年 10 月 29 日（土）午前 10 時より、川西市役所 2 階 202 会議室において、標記通常総会を開催しますので、万障繰り合わせの上、是非ご出席賜りますようお願い致します。

今回の議題は、「平成 27 年度事業報告」「平成 28 年度事業計画（案）」「町名変更について」等の予定です。

◎阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業説明会の開催について！

平成 28 年 10 月 29 日（土）上記「まちづくり協議会通常総会」の終了後、同所で、市主催による標記説明会を開催致します。

内容は、現在の進捗状況等の説明後、質疑応答の予定です。つきましては、ご多忙中の事とは存じますが、是非ご出席賜りますよう併せてご案内致します。



お知らせ



第26回 まちづくり協議会 町名変更検討部会 の開催お知らせ

日時：平成 28 年 9 月 16 日（金）18：00～ 場所：市役所 5 階 503 会議室

第27回 まちづくり協議会 町名変更検討部会 の開催お知らせ

日時：平成 28 年 10 月 6 日（木）18：00～ 場所：市役所地下 1 階 B01 会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第 76 条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。（詳しくは、地区整備課 072-740-1207 へ）

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL：072-740-1203 FAX：072-740-1330

日時：午前 9 時～午後 5 時半（ただし、土曜・日曜・祝日は除きます）

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuouskitaseibi/index.html>